

紙おむつ等対策に向けた実証実験の実施について

- 1 目 的 紙おむつ等の排出の課題解決に向けた今後の対策の検討材料とする
- 2 対象地区 葉桜地区 約1,500世帯
- 3 期 間 令和7年4月16日（水）から6月27日（金）まで
- 4 内 容

(1)拠点回収ボックスの設置（紙おむつ、衛生ごみ等）

葉桜児童館前緑地及び富士見児童遊園の2ヵ所に拠点ボックスを設置し、週1回の戸別収集では排出が間に合わない紙おむつ及び衛生ごみ等を24時間いつでも排出していただけるようにする。

(2)週1回戸別収集回数の追加（紙おむつのみ）

拠点回収ボックスへ行くことができず、通常の戸別収集では紙おむつの排出が間に合わない世帯を対象に、登録制で紙おむつのみ週1回戸別収集を追加する。

(3)アンケート調査及びヒアリング

紙おむつを排出されている世帯にアンケート調査を実施し、実験を行った感想や意見を募る。また、その中から紙おむつの排出にお困りの世帯を抽出してヒアリングを実施し、さらに詳細な状況を聴取する。

5 収集品目

(1)紙おむつ

紙おむつ、尿漏れパッド、お尻拭きシート

(2)ペット関連

ペットシーツ、ペット用紙おむつ、猫砂、ペットのふん

(3)衛生ごみ

生理用品、嘔吐物